

白熱灯ペンダント

(天井付け専用型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

YA1 - 093

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。 この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ :配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ:工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

什 様

品番				適合電球		
PE-2373	• PE-2375	• PE-2540	• PE-2541	E17	PS	クリプトン電球 40W まで×1
PE-2377	• PE-2379	• PE-2542	• PE-2543	E17	PS	クリプトン電球 60W まで×1

この取扱説明書のマークについて ==

説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。

▲注 意 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。

0 このマークのついている説明文は、必ず守ってください。

0 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。 配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。

☆器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。

☆器具の落下事故の原因となります。

付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。 電気店または工事店に依頼してください。 ☆一般の方の工事は法律で禁止されています。

ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には絶対に使用しないでください。

☆器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。

☆感電事故や漏電の原因となります。

次のような場所には取付けないでください。 ☆器具の落下事故の原因となります。





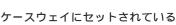
傾斜した場所



不安定な場所



☆過熱して、発煙や発火の原因となります。



ガタつくもの

配線器具

器具を布などで覆わないでください。

破損しているもの

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。 ☆火災や感電事故の原因となります。

エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。 ☆器具がゆれて破損する原因となります。



この器具は周囲温度5 ~35 の中で使用してください。

☆加熱して、発煙や発火の原因となります。 AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。

☆定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

ヒビの入ったカバーや一部欠けたカバーは使用しないでください。

☆カバーの破損、落下の原因となります。

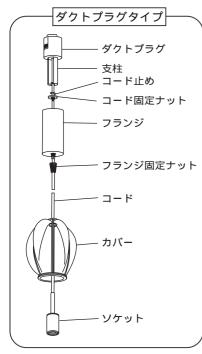
温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。 ☆器具カバーの変形や火災の原因となります。

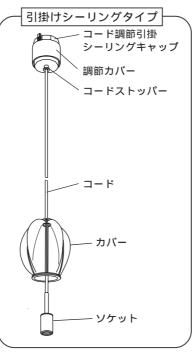
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。 ☆変色や材料の変質によるカバーのビビ割れなどの原因となります。



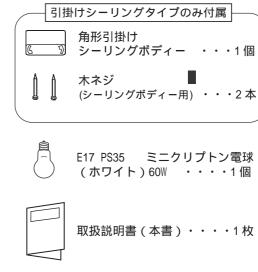


【器具構成図】





【付属品】



保証と

アフターサービス

ライティングダクト

差し込む

(別紙)・・・・・・1枚

取り付け方 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。 ▲注 意

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。

☆取り付けに不備があると、器具の落下による『けが』や火災、感電事故の原因となることがあります。

ストッパー

ライティングダクト、ダクトプラグには方向性があります。

無理に取り付けないでください。

☆器具の破損、落下の原因となります。

ダクトプラグタイプ

1.器具を取り付けます。

A・Bの凸凹に合せてライティングダクト用プラグを ライティングダクトへ差し込み、プラグを右へ90°回し て取り付けます。この時、ストッパーがライティングダク トに確実にはまっていることを確認してください。

ダクトプラグをはずす際は、ストッパーを指で 押し下げながら、左に90°回転させてください。

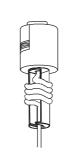
2.器具高さを調節します。



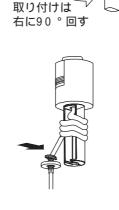
フランジ固定ナッ トを緩め、フランジ 固定ナットと、フラ ンジを静かに本体ま でおろします。



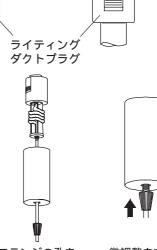
コード固定ナット とコードを切りかき を巻きつけます。 からはずし、静かに (調節可能範囲: 下ろします。



お好みの長さにな を緩め、コード止め るまで支柱にコード 700 mm)



コードとコード止 めを支柱の切りかき にはめ込み、コード 固定ナットを締めこ んで固定します。



フランジの孔を 入れフランジ固定 ランジを固定します。

微調整をする場合 コード止めに合わせ はフランジ固定ナッ トを緩め、コードを ナットで締め込みフ 押し上げてください。

ストッパー



取り付け場所の確認

すぐ取り付けられます



角形/丸形/フル

引掛シーリング





引掛埋込/引掛露出 フル引掛 ローゼット ローゼット

配線だけの場合

アウトレットボックスの場合



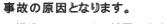
付属の引掛シーリ ングを取り付けて ください。



配線器具の取付工事が必要です

市販の引掛埋込ロー ゼットを取り付けて ください。

▲ 警告 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。 ☆補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下



建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないこと







⚠注 意

がまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構 造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

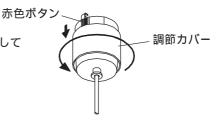
野縁

さお縁

薄い天井

器具を取り付ける前に

コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーを左に回して 赤色のボタンが完全に見えるまで下げてください。



1.器具を取り付けます。

コード調節引掛シーリング キャップの2本の引掛刃を 引掛シーリングボディに挿 入し、カチッっと音がする まで右へ回してください。

コード調節引掛シーリング キャップの調節カバーが 天井面、または配線器具に あたるまで時計方向に回し てください。

ローゼットタイプの配線 器具の場合は、配線器具 を調節カバー内に収納で きません。





引掛シーリングキャップのはずし方

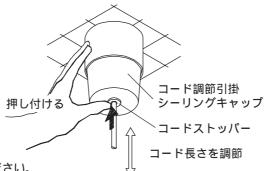
器具を天井から取り外す 場合は、コード調節引掛 シーリングキャップの調 節カバーを左に回して、 赤色のボタンが完全に見 えるまで下げてください。

赤色のボタンを押しながら コード収納引掛シーリング キャップを左に回してはず してください。

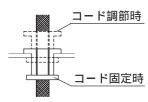


2.器具高さを調節します。

コードストッパーをコード調節 引掛シーリングキャップ側に押 し付けながらコード長さを調節 します。(調節可能範囲:700mm) 調節が終わりましたら、コードを 下側に引きコードストッパーで 固定されているか確認してください。



コードストッパーの位置



∧注 意

全長500mm 以下では使用しないでください。 ☆過熱して、発煙や発火の原因となることがあります。 3. 電球をセットします。

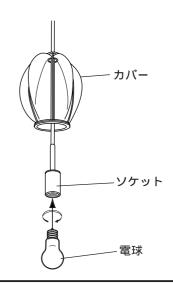
片手でカバーを押し上げて電球を ソケットにねじ込みます。

電球をセットしたら静かにカバーを下ろしてください。

⚠注意

● 電球は乱暴に扱わないでください。
☆電球割れなどの事故の原因となります。

カバーは吹き込みガラスのため、ガラスのみの交換はできません。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON - OFF 」操作を行います。

お手入れについて 🏗 🗈 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

こまめに清掃を:照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。 定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

- 電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。 感電事故の原因となります
- スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または ハンカチやタオル等を使って交換してください。 火傷の原因となります 濡れた手で触らないでください。 感電事故の原因となります

電球は乱暴に扱わないでください

電球が割れてけがをする恐れがあります

適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「 仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。 不適合な電球を使用すると、異常過熱による火災の原因となります シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。 器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります

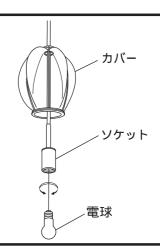
電球の交換

- 1. スイッチを切ります
- 2. カバーを押し上げて 電球を交換します。

▲注意

● 電球は乱暴に取り扱わないでください。 電球割れなどの事故の原因となります。

カバーは吹き込みガラスのため、ガラスのみの交換はできません。



お手入れのしかた -

- 1. スイッチを切ります。
- 2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- 3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- 4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**(器具本体のラベルでご確認ください)、 **故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

